

愛の聖地越生 6 か所の観光スポットの説明

① 大宮神社

697年の創建で聖天宮と称されていたが明治2年に大宮神社と改称した。内陣に安置されている聖天像は象の頭を持つ男女の神が抱き合っている姿で昔から秘仏とされ、夫婦和合、子授け、福德の神として信仰されてきた。夫婦和合を象徴するにふさわしい神社である。

② 五大尊つつじ公園

園内には1万株のツツジがある。五大尊鏡内にある古木のツツジは1700年頃植えられたもので、その古木に囲まれるようにある和合神（歓喜天）は、江戸時代から縁結び、夫婦円満の神として崇められてきた。この和合神の前でつつじの花言葉である愛の喜びを二人で確認しあうには絶好の愛の園である。

③ 大亀沼

万葉集巻十四歌に、「入間路の大谷ヶ原のイワイヅラ引かばぬるぬる吾にな絶えそね」と詠われている。これはつるを引けばずるとなびき寄って私から離れないでほしい、私との仲を絶やさないでくれという恋情を詠んだものである。湖面を見つめ万葉の浪漫に浸かりながら出会った頃に思いを馳せるには最適な場所である。

④ 弘法山観世音

乳房をかたどった縫いぐるみを奉納する風習がある。安産や子供の健やかな成長を願う人々に信仰され、遠方からの参拝者も絶えない。越生郷土カルタに「安産の 願いかなえる 弘法山」と詠われるほど安産祈願として有名な子育て観音である。

⑤ 上谷の大クス

日本の巨木ランキング第16位に認定されている。樹齢は千年で幹周り15m、樹高30mの巨樹である。勇敢な大木であるため男性をイメージしがちだが根元のすぐ上から幹が2つに分かれて伸びているため仲睦まじい夫婦が生活を共にしている男女の姿であることから連理のクス、夫婦楠（めおとクス）とも言われている。長寿と夫婦円満を授けられるパワースポットである。

⑥ 黒山三滝 男滝と女滝

黒山三滝は、男滝、女滝、天狗滝の三つの滝の総称である。上段の男滝と下段の女滝が二段に流れ落ちる様は比翼の滝と呼ぶにふさわしい。夫婦の絆を深めるために自然が作り出した夫婦滝である。女滝前の夫婦橋から手をつないで男滝と女滝の流れを見つめながら夫婦円満を祈願できる希少な景勝地である。

観光スポットマップ

